



プログラム日程(主な訪問場所)

- 1日目(東京)
  - ・外務省 ・米国大使館
  - ・官邸
- 2日目(ワシントンDC)
  - ・米国議会
  - ・日本大使館
- 3日目
  - ・国務省 ・国防省
  - ・戦略国際問題研究所(CSIS)
- 4日目
  - ・NPO法人 Japanese Plus
  - ・タイダルベイスン
  - ・ジョージタウン大学
- 5日目(ニューヨーク)
  - ・インストラピッド
  - ・海上航空宇宙博物館
  - ・セントラルパーク
- 6日目
  - ・国際連合日本政府代表部
  - ・国際連合本部
- 7日目 視察
- 8日目 帰国

①エマニュエル駐日米国大使表敬 ②国連ツアール ③米議会訪問 ④国務省・国防省訪問  
⑤米側要人およびニューヨーク総領事表敬 ⑥現地学生との交流

外務省による海外派遣プログラム

(TOFUプログラム※)が、令和5年3月15日～22日、22日～29日の2グループに分かれ実施されました。第5回目となる本プログラムは、3年ぶりとなる米国派遣が実施され、本市からは市内在住の高校生(当時)6名が参加しました。プログラムでは、ワシントンDC、ニューヨークを訪れ、日米関係に携わる実務者や国際社会で活躍する有識者への面会、視察等を行い、日米に対する理解を深めました。

※TOFUプログラムとはアメリカで沖縄の未来を考えた(Think of Okinawa's Future in the US)プログラムの略称。沖縄の将来を担う高校生・大学生を米国に派遣し、米政府関係者との意見交換や米国の代表的な歴史・文化施設等の視察を通じ、語学としての英語力向上を図り、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供するとともに、よりグローバルな視点を深めてもらうことで、国際社会で活躍する沖縄の人材育成を行うことを目的としています。

報告会の様子



お問い合わせ先：基地渉外課 (内線：5212)

第5回「アメリカで沖縄の未来を考える (TOFU)」プログラム 参加報告

プログラム参加報告



なご 名護 ひまりさん

TOFUプログラムに参加して、現地の方と関わることで自分の考えや知識が広がりました。日米関係や世界情勢を知っていかなければいけないという意欲に繋がりました。また、身をもって体験することが世界を知ることの第一歩となり、現地の文化や人に触れることがとても重要だと感じました。留学をすごく遠いものと感じていましたが、自分を成長させてくれる、視野を広げてくれる貴重な体験になりました。



たかざわ りゅうき 高澤 琉希さん

今回私はTOFUプログラムの第一陣としてアメリカのワシントンDCとニューヨークへ行き、様々な貴重な経験をすることができました。国際連合本部やアメリカ合衆国議会、現地の学校を訪れ、英語で話を聞き意見交換等を行いました。アメリカへ行って、実際に体験すること、対話する事の大切さを感じました。外国に行くと現地の人と接してみる事で、日本ではできない経験ができ、多くの学びに繋がりました。次の機会があれば、また挑戦したいです。



おおみね ていな 大嶺 天華さん

今回実際に米国へ訪れ、沖縄との現状・今後の関係や基地問題などについてどのように考えているのか、直接お話を伺うことができました。中でも一番印象に残っているのは、TOFUメンバーの一人が、米国側も沖縄に住んでいる私ですらも知らなかった彼女の身近に存在する問題について話してくれたことです。二語に載っていることが全てではないこと、だからこそ自分の声を届けるために自ら発信していくことの重要性を感じさせられました。



あざと かな 安里 菜奈さん

今回このTOFUプログラムに参加して私自身が一番大きく変わったことは、物事を見る視点や価値観、人とのコミュニケーションの取り方です。政治的問題や今までに起こったテロや戦争などについて考えさせられることが多く、すごく色々なことを心から肌まで感じることで、すごく充実した一週間だったと感じています。帰国後のアフションプランも、沖縄に置かれている基地内の学校に通っている生徒、そして沖縄の学校に通っている生徒らに、沖縄戦のことについてのディスカッションを通して戦争の怖さを分かってもらい、これからの未来が平和に続くように私たちが若者が些細なことでも発信していけたらいいなと思いました。



なかむら 仲村 くりあさん

今回の研修で特に感じたことは、正確かつ中立な情報を得ることの大切さです。特に、沖縄の基地問題は非常に複雑で様々な利害関係が絡み合っています。多くの情報や意見がある中で、情報の根拠や質を慎重に見極め、客観的な視点を持つことが重要だと感じました。実際の現地での体験や専門家の方々の対話を通じて、外交や国際関係への情熱や、日米関係についての貢献意欲が高まり、自分自身の将来がより明確になりました。



いしかわ かくと 石川 岳翔さん

一言でいうと人生観が変わりました。もともと政治に興味があり知識もある方だと思っていましたが、僕が知らないような事を知っているメンバーが多く、「知らない」ということを知り、もっと勉強を頑張ろうと思いました。また、普通の雑談をしているのに、気づくと沖縄が抱えている問題について話しているという事が多々ある程、様々な意見を持つ人とあらゆる角度から話し合うということに楽しみを覚ええました。外交官に興味を持ち、「外交官のお仕事体験」をグループの事後活動として各学校で行なっています。僕のTOFUは終わっていません。沖縄、日本、世界に貢献できる人材になる為、自分の人生をかけて精進していきます。